

『新訂・認知症介護実践リーダー研修 標準テキスト』正誤表

『新訂・認知症介護実践リーダー研修標準テキスト』におきまして誤りがございました。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
73 頁 11～16 行目	<p>行動・心理症状（BPSD）の症状面から考えると、行動・心理症状（BPSD）の内容がケア場面での対応困難さを引き起こす場合が挙げられる。たとえば、<u>レビー小体型認知症の症状のひとつである幻視や、認知症の発症に伴ううつ状態が挙げられる。これらはいずれも抗精神病薬の投与が第一選択とされるであろう。</u>しかし、原因疾患によって生じているものであるため、それを根治することは困難である。すると、幻視や<u>抑うつ状態</u>への対処をどうすべきかという問題がケア現場で生じる。</p>	<p>行動・心理症状（BPSD）の症状面から考えると、行動・心理症状（BPSD）の内容がケア場面での対応困難さを引き起こす場合が挙げられる。たとえば、<u>レビー小体型認知症の症状のひとつである幻視や、前頭側頭型認知症の常同的行動などが挙げられる。</u>しかし、原因疾患によって生じているものであるため、それを根治することは困難である。すると、幻視や<u>常同的行動</u>への対処をどうすべきかという問題がケア現場で生じる。</p>